

## 5. 次回会議の内容（案）

---

### 次回会議までに実施

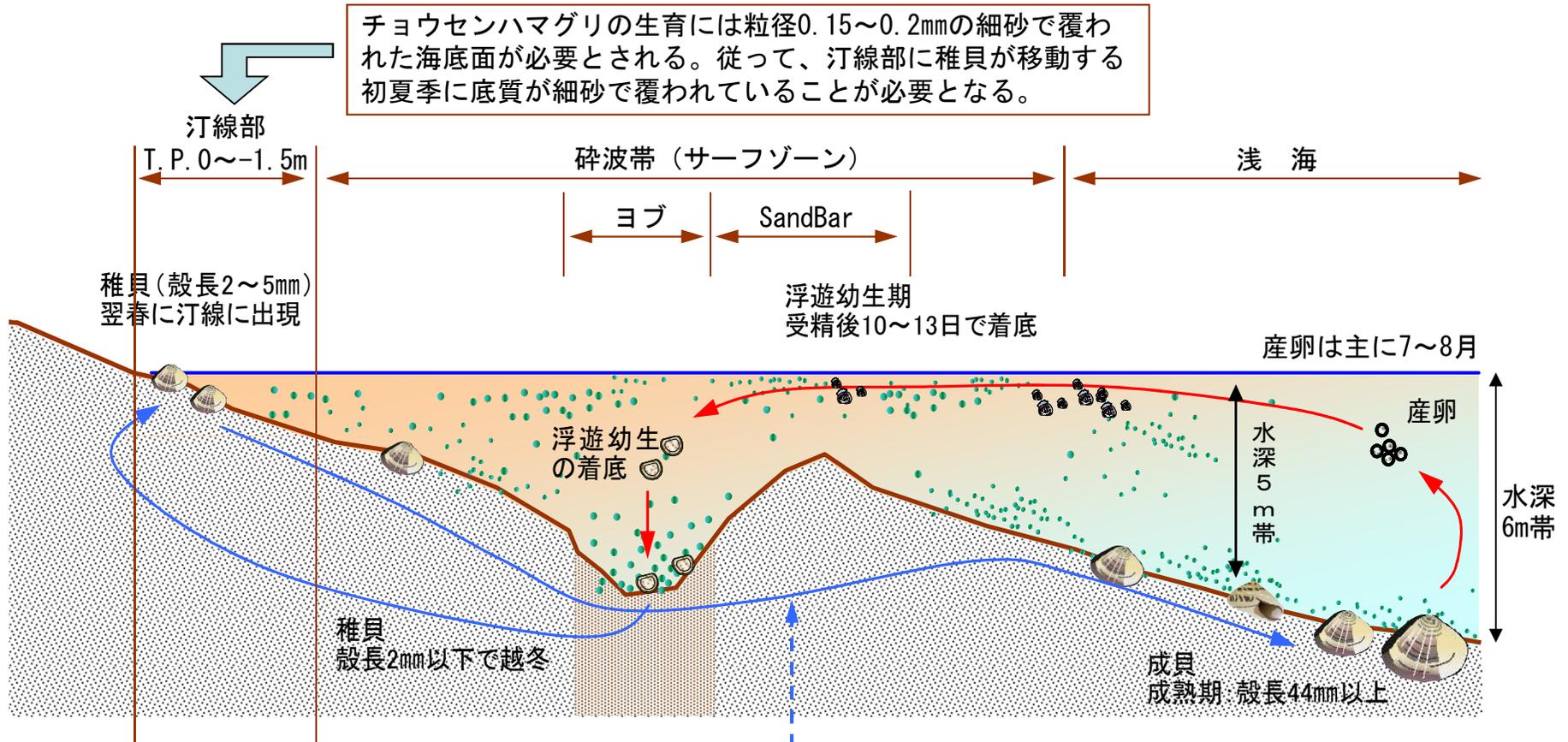
- ・予備試験施工の事後調査
  - (1) 投入直後の粗粒材調査 3～4月
  - (2) 環境モニタリング 4月中～下旬、7月、10月

### 次回会議での協議内容

- ・予備試験施工 事後調査(1)(2)の結果の報告  
粗粒材の移動状況や、環境への影響結果を報告
- ・本試験施工についての提案  
予備試験施工の結果を考慮して本試験施工の提案

## <参考> チョウセンハマグリの生活史

チョウセンハマグリの稚貝は、季節的移動を伴いながら、汀線部～約水深6mの範囲を生活域としている。



### 既往知見による汀線部のチョウセンハマグリの生息状況

**冬季:** 稚貝の生息水深は2~6mの範囲にある。

**夏季:** 汀線付近に主に生息する。

旭市及び片貝地先の調査からは、汀線部において、6月から1歳貝が出現し始め、8月以降急速に成長しつつ10月に生息密度がピークとなる。(11月以降汀線部から深場へ移動したと推測される。)

一方で、汀線部では50mm以上の個体が4~7月に出現する。千葉県水産ハンドブックによれば2歳貝以上と考えられる。)

※千葉水試研究報告及び千葉水試資料より

# 〈参考 今後の見通し〉

	2013年			2014年												2015年		
	10月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
沿岸流の向き	← 南 →			← 北 →						← 南 →								
粗粒材投入予定地※における漂砂の動き	侵食			堆積						侵食(台風)			侵食					
汀線部でのチョウセンハマグリ稚幼貝の生息量				→														
粗粒材養浜の施工時期				予備試験施工						本試験施工(予定)								
モニタリング調査	予備調査 ●			追跡調査			事後調査 ●			事後調査 ●			事後調査 ●					
本試験施工前の事前計測(地形、粒度等)												事前 ●						
海岸づくり会議の開催時期				9回 ◆						10回 ◆						11回 ◆		

※粗粒材投入予定地  
HL1号堤南側の汀線部

予備試験施工  
の状況報告

予備試験施工の  
モニタリング結果報告

本試験施工後  
の状況報告

## 3.2 投入時の状況

定点写真から見る投入移動状況

地点①



## 3.2 投入時の状況

定点写真から見る投入移動状況

地点②

